

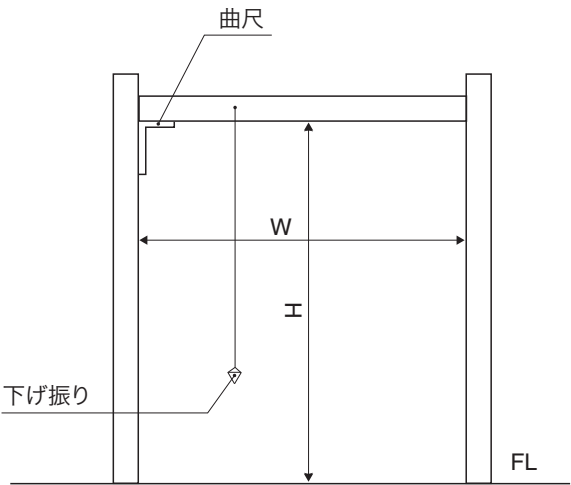


## 1. 開口部の確認

- 扉枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。

### タイプ別サイズ品番

| タイプ  | サイズ品番 |
|------|-------|
| 2枚折戸 | 71    |
| 4枚折戸 | 7S    |
|      | 72    |



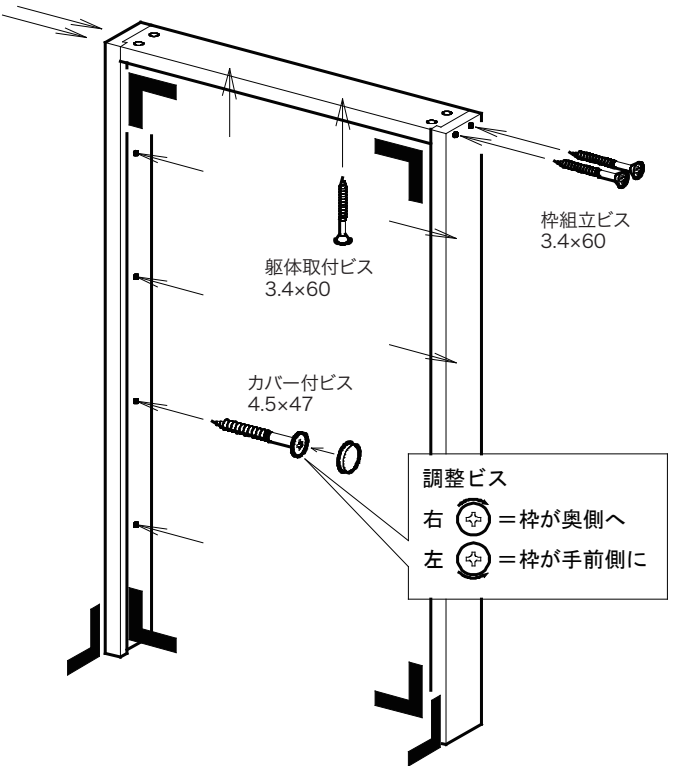
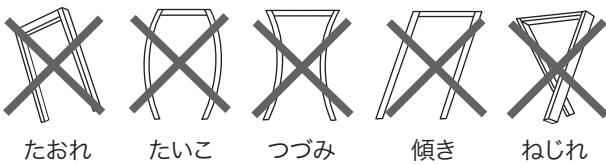
## 2. 枠の組立て・取付け

- ①枠をビスで組み立ててください(レールは後で取り付けてください)。  
※4方枠の場合は、下側もビスで固定してください。
- ②組み立てた枠を、下地にビスで固定してください。
- ③縦枠を下地に固定するためのリード穴があるので、カバー付ビスを締め付けて固定してください(左右各4ヶ所)。

**注意** 調整ビスを締め込み過ぎますと、ビスカバーが取り付けられない可能性があります。

**注意** 柱の垂直と、床・梁の水平を、下げ振りや水準器などでご確認の上、取り付けてください。

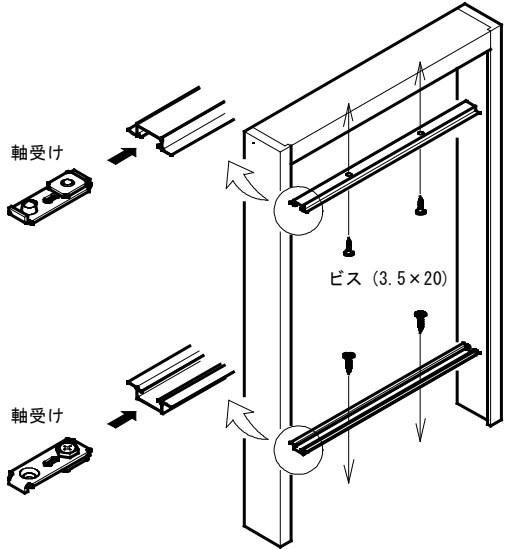
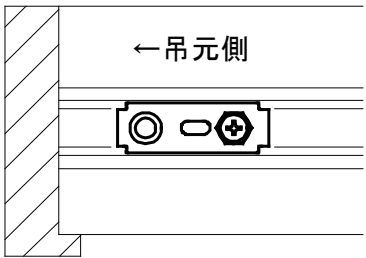
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



## 3. レールの取付け

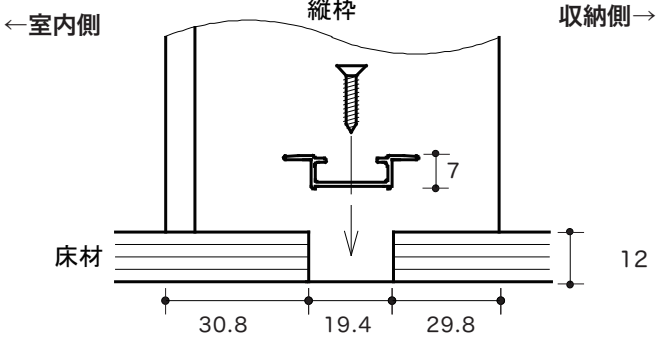
- ①上下レールに軸受けを挿入し、レールをビスで固定してください。

**注意** 軸受けの挿入方向にご注意ください。



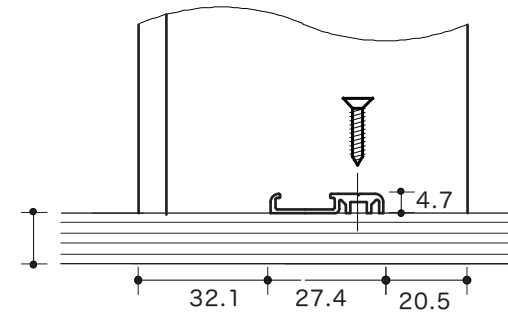
### 《下レール取付け》

- レール(埋込み)を入れ、ビスで固定してください。



### 《※オプション／直付レール》

- 直付レールを床材にビスで固定してください。



**注意** レール取付用の型紙を使用して、正しい位置と向きで取り付けてください。

## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
  - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
  - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
  - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
- 養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

**△ご注意△** ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。  
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

### ＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。